

経営戦略原稿案(答申書別冊素案)への指摘・修正箇所

※ページ番号は、第8回審議会資料に合わせています。

章	ページ	指摘等	指摘等	修正・対応概要	
1	2	13	図2-1	各処理区がどの領域を指すのかがわかりにくい。処理水の流れを矢印で示すなどした方がよい。	汚水の流れの矢印を追加した。町田・鶴川処理区以外の処理区の記載は省略した。(区域も小さく点在しているため、流れの矢印を見やすくするため。)
2	2	15	9、10、11行目 「耐用年数50年…」	→「【法定】耐用年数50年…」(きちんと維持管理していれば法定耐用年数を超えていても問題ないと理解してもらえるように記載した方がよい。)	左記のとおり修正した。
3	2	15	図2-4	文字が小さく、読みづらい。図中の楕円形は不要なのではないか。	図を修正した。
4	5	40	焼却炉運転の効率化	成瀬の予備機(50t)は今後どのように運用するのか。	図5-5内に説明を追加した。
5	5	43	ストックマネジメント計画(管路施設)	簡易調査と詳細調査がどのような調査であるのかを説明した方がよい。	簡易調査と詳細調査の説明を追加した。
6	5	47	図5-12	・きちんと安全対策している絵として、作業員の対策(親綱に器具をかける)、流下防止柵の形状を示した方がよい。 ・何をしているのかの説明を、図中にいれてはどうか。	安全に配慮している図に修正した。作業内容を図内に追記した。
7	5	51	事業場の指導 1行目 「事業場に対して排水の…」	下水道が受け入れる排水のことであることを、わかりやすく説明した方がよい。	文章を修正した。
8	6	58	温室効果ガスの削減	焼却工程などからのN2Oの発生について説明をした方がよい。	第5章2(3)で触れているため、ここでの説明は行わないこととした。
9	6	58	再資源化率	再資源化率の内訳(セメント原料、建設資材、埋め戻し材…)を示した方がよい。	内訳をグラフにして追加した。
10	6	61	水路などの維持管理	どのような水路が該当するのか、写真などを用いて説明した方がよい。	文章を修正し、写真を追加した。
11	6	62	流域治水	「休耕田による調整池機能」がどのようなものであるのかを説明した方がよい。	ページ下に注釈を追加した。
12	6	65	汚水管の耐震化	圧送管が普通の管渠とどのような違いがあるのかの説明があった方がよい。	ページ下に注釈を追加した。
13	6	64~66	「重要な幹線等」の注釈	幹線、枝線、管渠とも管渠で統一する、または管渠を幹線と枝線として、注釈には幹線、枝線の2つの言葉だけにした方がよい。	・一般汚水管、重要汚水管という表現に統一した。 ・図6-16の下に、重要汚水管・重要雨水管の説明を追加した。
14	6	66	図6-18 液状化によるマンホール浮上状況	どこの地震でこのような状況になったと示した方がよい。	図タイトルに「2004年10月の新潟県中越地震における」と追記した。
15	6	66~69	処理場の耐震化	簡易処理ルート、最低限の処理場運用の説明があるが、図を用いて説明した方がよい。	・本文「簡易処理ルート」を、分かりやすいよう「簡易放流施設」に変更した。 ・図6-22該当部を着色、図6-23、凡例を追加した。 ・「最低限の処理場運用」は、文章整理に伴い削除した。
16	6	72	「…汚水管に流れ込む「雨天時浸入水」が…」 「町田市雨天時浸入水対策計画」	→「…汚水管に流れ込む【など】の「雨天時浸入水」が…」(他の理由もあるため) →「町田市雨天時【浸】入水対策計画」(誤字)	左記のとおり修正した。
17	7	79	表7-1 減価償却費	処理場施設の耐用年数20年は、ポンプなどの「設備」ではないか。	文章を修正した。 (「施設」→「関連の資産」)
18	7	85・86	「補填財源とは…」	現金預金残高と補填財源充当額との違いについて、補足的な図などを用いて説明した方がよい。	補填財源と現金預金残高との関係に関する説明を追加した。
19	9	93	「顧客の視点」	「顧客」は通常使う言葉か。「使用者」ではないか。	現行計画で分析の視点の一つとして挙げた「顧客の視点」について、引き続き記載することとした。
20	-	-	目次	答申書でも、ページ数が多いので目次を付けた方がよい。	目次を作成した。
21	-	-	用語説明	各ページの下用語説明について、対応されていないものがある。	用語説明・用語集を再整理した。
22	-	-	図表の色や文字サイズ	各図表で、色が薄いところ、文字が小さいところなどがある。	各図表を調整した。